

未来予想図

私立高校の「まわし合格」・「スライド合格」

私立高校の多くは、特進コース、進学コース、総合コースなど複数のコースを設置しております。そして、ほとんどの私立高校では合格基準の高いコースで不合格となった場合でも、合格基準に達しているコースがあった場合、そのコースで合格となります。これを「回し合格」や「スライド合格」とよんでおります。（「まわし合格」という表現は、私立高校側が使用している表現なので使わせていただきます。）

ただし、合格基準の低いコースに出願し、入試の結果、合格基準の高いコースの合格点を上回っても合格基準の高いコースでの合格とはなりません。つまり、「逆回し合格」・「逆スライド合格」はあり得ません。

これは、生徒（受験生）の意思を尊重するためです。

こうした制度をご理解の上、今後、私立高校のコース選択し、最終的に出願してください。

なお、札幌第一高校はAコース（またはLコース）で出願しても、より合格基準の高いLコース（またはEコース）の合格点を上回った場合、合格通知とともに「Lコース（またはEコース）の合格点に達しているため、Lコース（またはEコース）での入学手続きも可能です。」といった通知文が届くことがあります。

この件について、札幌第一高校へ問い合わせたところ、「募集定員の関係もあり、毎年、必ず（上記のような）通知文を出すことは約束できません。1番進学したいコースに出願してください。」との回答でした。

●高校入学後の「転コース」

先に記しましたように、多くの私立高校は複数のコースを設置しておりますが、高校1（2）年から2（3）年進級時にコースを変更する、いわゆる「転コース」を希望する生徒がおります。

転コースにつきましては、できる高校とできない高校があります。

例えば、北海道科学大学高校は、転コースが可能な旨をパンフレットに明記しております。

ただし、希望すれば誰でもコース変更が可能なわけではなく、高校1（2）年時の成績等をもとにコース変更の認可がなされます。

一方、札幌第一高校は原則として、コース変更を認めていないといえます。理由はコース毎に使用している教科書及び教育課程が異なり、コース変更した場合、卒業に必要な単位を取得をすることができないためだといえます。例年、2～3人、授業についていけないことを理由にコース変更を希望する生徒がいるそうですが、個別指導等、コース変更以外の形でサポートしているといえます。

●公立高校全日制普通科の学区外の推薦受検はできません。

学区外の公立高校全日制普通科を一般受検する場合、募集定員に枠がもうけられるといった入学制限がかかります。(ただし、受検は可能です。)

しかし、学区外の公立高校全日制普通科の推薦受検はできませんのでお知りおきください。

【推薦受検できる例】

北海道美唄聖華高校 (普通科ではない衛生看護科のため、全道学区となり推薦受検可能)

北海道奥尻高校 (普通科であるが、全国学区のため推薦受検可能)

【推薦受検できない例】

北海道小樽桜陽高校 (一般受検は可能ですが、普通科で後志学区のため推薦受検は不可能)

●札幌山の手高等学校昼間定時制課程

昨春、札幌山の手高校に昼間定時制課程 (通称「BUC」) が開校しました。特徴は下記の3点です。

①定員30名、②午後登校して夕方下校、③通信併用 (三和高校の通信併収が必須) で3年間で卒業可

◎coffee break 硬貨の入った10kgの袋

同種の硬貨が10kg分入った袋があった場合、それぞれ袋の中の金額はどうなるかを計算してみました。

10 [kg] = 10,000 [g] です。そこで、10,000 [g] ÷ 硬貨の質量 [g] で、袋の中の硬貨の枚数を求め、その枚数に1枚あたりの硬貨の金額をかけ算すると袋の中の金額が計算されます。

結果は、

硬貨	素材	質量 (量目)	袋の中の枚数	金額
1円	アルミニウム	1.00g	10,000枚	10,000円
5円	黄銅	3.75g	2,666枚	13,330円
10円	青銅	4.50g	2,222枚	22,220円
50円	白銅	4.00g	2,500枚	125,000円
100円	白銅	4.80g	2,083枚	208,300円
500円	ニッケル黄銅他	7.10g	1,408枚	704,000円

ちなみに、1円硬貨の直径は20mm (半径は10mm) で、質量が1.00gのため、長さや質量を測定する際に役立ちます。